

第 53 回高性能 Mg 合金創成加工研究会 「マグネシウムの新展開 ～実用化に向けた取り組み～」

概 要

“WPM Mg R&D Project and POSCO’s Mg Business”



Dr. Park Jong Sik (朴鍾植)
Team Leader,
POSCO Nonferrous Metal Technology
Development Group,
POSCO

POSCO : www.posco.co.kr

<講演概要>

WPM 事業は2010年素材産業の発展のため国の課題として始められました。その10分野の一つになる POSCO はマグネ合金素材は製錬と板材の事業を基盤に WPM マグネ事業を総括する企業として参加しており26箇所の産学機関とともに課題を進めております。従がって、マグネを採用する自動車部品開発を目標として過去四年間の研究開発を通じて次世代製錬、新合金開発、板材製造技術、表面処理、接合を含んだ部品化技術分野におき徐々に研究成果を挙げております。

「KUMADAI 耐熱マグネシウム合金の実用化に向けた取り組み」



佐々木 美波 氏
不二ライトメタル株式会社
商品開発・研究開発部
研究開発グループ

不二ライトメタル株式会社 : <http://www.fuji-lm.co.jp/>

<講演概要>

KUMADAI 耐熱マグネシウム合金の事業化を目指し、平成18年から23年までの5年間、製造基盤技術の開発が行われた。この成果移転を受け、不二ライトメタル(株)では、平成24年に量産実証工場を整備し、実用化を目指した製造技術・アプリケーション開発を推進してきた。本講演では、弊社が行ってきた実用化に向けた取り組みについて紹介する。

「超軽量マグネシウム製車椅子の浜松プロジェクト」



山田 徹 氏

公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構

事業推進部 新技術開発グループ

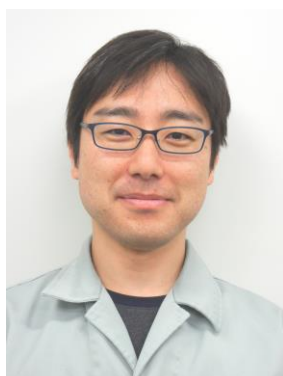
グループ長（兼）技術コーディネーター

（公財）浜松地域イノベーション推進機構：<http://www.hai.or.jp>

<講演概要>

浜松地域の中小企業約10社が連携して、①世界最軽量②スタイリッシュなデザイン③新技術開発 をコンセプトとし、様々な加工技術を開発又は応用展開しマグネシウム製フレームを有する「超軽量車椅子」を開発したのでその概要を講演する。

「マグネシウム空気電池の開発」



久保田 昌明 氏

古川電池株式会社

技術開発本部 技術部

主任

古川電池株式会社：<http://www.furukawadenchi.co.jp/>

<講演概要>

マグネシウムは高い理論エネルギーを有し、資源量も豊富であるため、電池の材料として期待されている。負極にマグネシウム、正極に空気中の酸素を使用するマグネシウム空気電池は、保管中の劣化が殆どなく、非常用途に向いている。本講演では、マグネシウム空気電池の原理、構造、および、開発したマグネシウム空気電池について紹介する。